

### 改訂版 老人ホームの探し方

老人ホーム（高齢者住宅等）を検討するときには先ずどのようなポイントをチェックしなければならないか、見学をした時に何に気を付けるかなど、今回はいろいろなところをプロの相談員が特別にお教えしたいと思います。



いままで「認知症になったら」とか「医療が必要になったら」とかいろいろなテーマを付けて老人ホームの探し方をお伝えしてきました。また探すに当たっての費用の考え方などもお伝えしました。今回は別の視点で、紹介センターの相談員としての探し方をお伝えできればと思います。

### §施設探しで最初に考えること

老人ホーム（高齢者住宅）を探さなければならなくなったとき、最初に考えるのは費用がどれくらい掛かるかですが、そこは前回にお伝えしたホームあしすとVol.14をご参考にしてください。

次に考えていただきたいのは、入居される方に合った施設を探すことです。もちろん以前に施設の種類について、お伝えしたことが有ります。ここで気を付けなければならないのは施設の種類だけでは施設選びは決まらないということです。ここで簡単に施設の種類をおさらいしてみましょう。

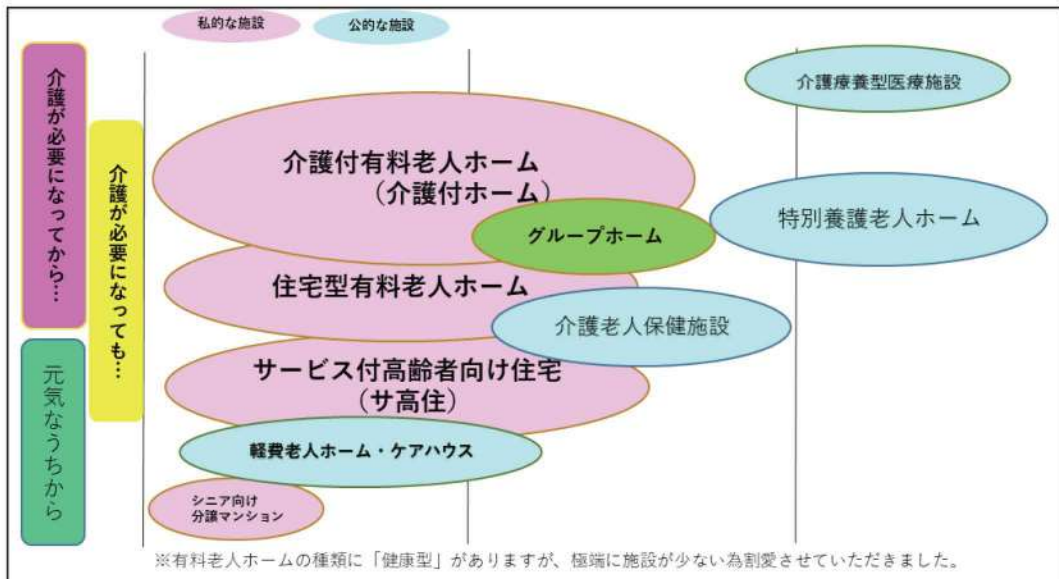
下にある公的な施設と私的な施設の種類を図で、縦軸で「元気なうちから」利用できる施設と「介護が必要になってから」利用できる施設と分けましたが、私的な施設の3施設は運営する母体の

考え方で介護付有料老人ホームであっても自立の方から利用ができる施設もあります。

サ高住は法律での仕組みでは、お元気な方を想定していますが、運営する母体の考え方で介護に重きを置いている施設も多くみられます。

このようにパンフレットに書かれている施設の種類だけでは施設選びはできません。

私的な施設では法律で定められていないところで運営母体が独自性を出しています。たくさん的高齢者住宅の中からご入居検討者様にとって合っている施設を選び出すのは大変です。施設を比較検討し絞込み、見学に行き、最終的に施設を決めるためには、施設だけでなく周辺の環境や立地も調べ、検討しなければなりません。次ページから我々プロの入居相談員の施設探しをお教えしましょう。



## § パンフレットの見方をお教えます

私たち相談員はパンフレットやチラシ、公式ホームページで必ず施設概要を見ます。パンフレットの終わりの方に小さい文字でびっしり書かれていることが多いです。各施設ほとんどが似たような項目で記載されているので比較がしやすいです。その中でも特に注意する項目は以下の項目になります。もし施設概要に無くても、パンフレットのどこかに記載されていることが多いです。



### 《施設概要のチェックポイント》

**開設年月：**オープンして何年くらいかが判ります。気を付けなければならないのは運営主体が変わったときにリセットされるので、記載より古い場合もあります。また新築ではなく改築の場合は建物の建築年数と違う場合があります。これは見学時のチェックポイントになります。

**居室面積：**最近の施設は個室で18㎡が多いですが、古い施設だと10㎡を切るところもあります。開設20年以上たっている古い施設だと、相部屋があるところがあります。サービス付き高齢者向け住宅で居室面積すべてが25㎡以上の場合、一部の例外もありますが、自立度の高い方を想定していることが多いです。

**施設の種類（類型）：**介護付有料老人ホーム・住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅等施設の種類の記載されています。

**人員配置：**自治体に申請している入居者と介護職員の配置比率です。入居者数：職員数比で記載されています。介護付有料老人ホームだけに記載があります。3：1～1.5：1の配置となります。0.5刻みで配置されています。

**居室数：**部屋数によって規模が判断できます。平均は60～70室くらいです。

**居室の設備：**ポイントは居室にトイレが有るか無いかです。ほとんどの個室にはトイレがありますが、古い施設で居室にトイレは無く、共同トイレの場合があります。この項目を見ると入居時に何を準備しなければいけないかが判ります。

**入居条件：**入居時の年齢や要介護度が条件になっています。入居時に介護認定が必ず必要な施設と、自立でも入居可能な場合は別に条件がある時があります。施設によっては要介護1以上でなければ入居不可のところもあります。

パンフレットには施設概要以外にもいろいろな情報がたくさん掲載されています。パンフレットの内容で運営している会社がどのようなことを特色としたいかを、うかがい知ることが出来ます。パンフレットで目立っているサービスは運営会社の売りにしたいサービスです。お食事であったり、リハビリであったり、医療連携であったり、いろいろ多くのスペースを割いて説明しています。

次にいくつかチェックしたい項目の説明をしましょう。

### ◎ 費用

費用に関してはこれまで何回かご説明してきました。高齢者住宅の費用は入居時と月額利用料とに別れます。ご入居時に払う入居金や前払金の違い、そしてそのメリット・デメリット。月額利用料の考え方のご説明もしています。改めて知りたい場合は私どもへご連絡ください。

パンフレットで気を付けることは、食費が月額利用料に入っている施設と入っていない施設があるということです。食費が入っていないから、食事の供食が無い訳でなく、入っている施設は基本3食を毎日入居者様が喫食することが前提で金額設定されており、食事が月額利用料に入っていない施設は食べた分だけ別途請求される仕組みになっています。食事代が月額利用料に入っていない施設はお元氣な方の入居を想定しているところが多いです。

### ◎ アクセス

施設のある場所と最寄り駅、そして距離が記載されています。駅から徒歩圏でない場合、たまに別の駅からの方がご家族にとって行きやすい場合も有ります。見学時のチェックポイントとなります。

## § 見学施設を絞り込みましょう

パンフレットやチラシで検討しながら考えなければいけないことは希望の条件を整理することです。

施設で何をしてもらいたいのか？どのような環境が良いのか？などをリストアップしましょう。

書き込んだ条件リストの中から下の2つのグループにランク分けをしましょう。

- ◎ 絶対に必要なサービスや設備・環境
- 有ったら良いなと思えるサービスや設備・環境

次に資料を集めた施設をリストアップした条件で比べてみましょう。

ここで実例を挙げてみましょう。

88歳の認知症のお母様のご入居検討をされている方の例です。

- ◎ 予算以内
- ◎ 認知症の介護に実績のある施設
- ◎ 朝は和食か洋食を選べる
- ◎ 持病に緑内障があるので眼科が近くにある
- 自宅から1時間以内で行ける施設（車）
- 話好きな母なのでレクリエーションが充実
- 南向きの明るいお部屋
- オプション費用があまり掛らない施設
- 近くにコンビニかスーパーが欲しい

あくまで簡単な例として作りました。いろいろなことをまずリストアップして 必要条件◎ と 十分要件○に分けてください。

ご予算は実際に金額を入れましょう。入居プランの有無、月額いくらくらいまで使えるかを考えましょう。

初めてのことで知らないことも多く、条件に合った施設をピックアップすることは大変だと思います。そこで私ども紹介センターの出番となります。施設の絞り込みに行き詰った時にはお気軽にご相談ください。



老人ホームで定められている人員配置は入居者3名に対して1名以上の介護職員を配置するとなっています。60人の入居者がいる施設では20人以上の介護スタッフを配置しなければなりません。この20名のスタッフはシフトで働いているので常時20人が居るわけではなく、定められた計算式で比率が求められます。老人ホームは3:1だけでなく、2.5:1 2:1、一番手厚い施設では1.5:1の配置申請をして認可を受けています。

## § 施設見学でのチェックポイント

施設の候補を絞り込んだら、必ず現地見学に行きましょう。実際に足を運び、複数の施設を見比べてみることで、パンフレットからは見えてこなかった情報を得ることができます。利便性や周辺環境を確かめるために、最寄駅から自分の足で歩いてみたり、施設の周りを散策したりすることも有益です。施設の中では、スタッフや利用者の表情にも注目してください。雰囲気の良い施設では、スタッフや利用者がおのずと穏やかな表情をしているはずで、スタッフが過度に仕事に追われていたり、利用者には挨拶しても素っ気なかったりする施設は要注意かもしれません。

大切なのは、なるべく短い期間に3~4施設の見学をすることです。時間が経つとどうしても記憶が薄れてしまいます。短期間に複数施設を訪れば、どちらの施設の方が好印象だったかが明らかに分かるはずで、もしも独力で施設を探すのでしたら、最低でも7~8か所程度は見学を行うことをおすすめします。

見学へ行かないと判りづらい事柄としては、協力医療機関は内科医だけでなく、他の診療科目の医師がいるかどうか。施設によっては精神科や眼科医・整形外科医が来ているところもあります。また外部支援の病院はどの程度の規模の病院かなども聞いてみましょう。

通院が必要になった場合の対応方法や費用も見学時に確認されると良いです。

他に確認が必要なこととしては面会です。面会方法や時間などを見学時に確認しましょう。下の表は見学時のチェックポイントになります。見学に行かれた時の参考にしてください。

### 施設見学でのチェックポイント

- ☑ 家族が行き易いか
- ☑ 周辺の環境は
- ☑ 周囲は平坦な立地か
- ☑ 介護サービスの手厚さは
- ☑ レクリエーションは何をしている
- ☑ 認知症への対応は
- ☑ 居室の広さ・きれいさは
- ☑ 共有設備の充実度は
- ☑ 医療サービスの内容は
- ☑ 面会時間の確認
- ☑ 建物はどんな感じか

## § 入居する決め手になったのは

施設の見学をしてどの施設にしようかとお決めになるときに、「どれも良い施設で決めかねています。おすすめの施設はどの施設ですか?」とお尋ねを受けます。私どもはここが良いとお答えすることはありません。大切なご家族をお預けになる施設を決めるのは、ご家族様だと思うからです。すでにある程度条件を絞って、ご見学先を決めているので、なかなかご検討者様も甲乙つけがたいと感じる場合が多いようです。

ご見学に行かれて、それぞれの施設に入ったときに、「明るくて良さそうな施設だな」とか、「ちょっと暗い感じがするな」とか、何かを感じられると思います。このような第一印象が結構当たっているかも知れません。それでも悩まれているときは最初に作った条件リストで条件の最初に挙げていたことは、今回見学した中でどこが良かったかを考えてみてくださいとお伝えします。

最後にもうひとつつけ加えるなら、どんな施設でもベストの施設はあり得ません。ですが入居者ご本人にとってベターな施設を見つけることは決して難しくないとと思います。

さて、プロの相談員の立場から、老人ホーム入居のパンフレットやいろいろな情報の見方、探すときのポイントを紹介してまいりましたが、いかがでしたでしょうか。



私ども紹介センターは老人ホームをお探しになっている方からは費用はいただいておりません。運営している施設様より紹介料をいただいて成り立っています。インターネットの老人ホーム検索サイトで資料請求をすると、その検索サイトが紹介したことになってしまいます。そのあとに私どものような対面型の紹介センターにご相談いただいても、残念ながらご紹介にならないので、お手伝いできなくなることがあります。インターネットで資料請求はせずに、まずは私どもにご連絡いただければ、すぐに対応できます。

冒頭でご紹介した、施設の種類や費用についての詳細については、過去に複数回ご説明しております。もしご興味があり、ご覧になりたいときは、私どもにご依頼ください。無料でお送りいたします。

## もしも迷ったときは・・・ ホームあしすと入居相談室へ

高齢者住宅のちょっとした疑問やご質問などがありましたら、「ホームあしすと入居相談室」へご相談ください。ショートステイのお手伝いも致します。

お陰さまで武蔵野市吉祥寺で創立18年目を迎えました。ご相談者様のお話を丁寧に向い、施設を知り尽くしたプロの視点から、お一人おひとりに合った施設を探し、親身になってご提案いたします。施設の見学、ご契約、アフターフォローまで、万全の体制でご相談にお答えします。まずはお気軽にご連絡をください。お待ちしております。



プロの観点で  
ご提案します

親身になって  
万全サポート

相談費用は  
いたしません

高齢者向け住まい紹介事業者届出公表制度 届出番号：20-0122

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目28-6-107 迦葉武蔵野第3

ホームあしすと  
入居相談室



0120-428-165

受付10:00~19:00 (日曜・祝日は休み\*)

<http://senior-support.co.jp/>

ホームあしすと

